

旧寄中学校の利活用に向けて(素案)

資料 3

旧寄中学校

昭和 61 年 2 月完成(現校舎)

建物敷地：4,991 m²

建 物：2,193 m² 3 階建て

構 造：R C 造



旧寄中学校の現在の校舎は、昭和 61 年 2 月に完成し、33 年が経過していますが、建物構造上も使用できる状態(建設当時の耐震基準に合致)にあります。

町では、校舎という貴重な財産を有効的に活用していきたいと考えており、地域経済の活性化・賑わい・雇用の創出等に向け、地元関係者や有識者の組織体の中で、ご意見を拝聴しながら、活用方法を検討するため、旧寄中学校利活用検討委員会を設置しました。

本会で担う業務及び利活用に向けた基本的な考えを以下に示します。

※検討委員会で担う業務は「利活用方法を検討する」こと

～利活用に向けた考え方～

- (1) 併設されている寄小学校の教育環境に配慮すること
※教育環境の確保
- (2) 有効的かつ持続可能な事業とすること
※持続性(採算性)の確保
- (3) 地域の活性化を図ること
※地域活性化・地元雇用の確保
- (4) 施設維持管理費用等の削減すること
※維持管理コストの削減

《対象施設の概要等》

- ① 施設名称 松田町立寄中学校
- ② 所在地 松田町寄 2549 番地
- ③ 延床面積 2,193 m²
- ④ 建築年 昭和 61 年
- ⑤ 構造 RC造3階建て

